

第133回(令和5年7月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客CO	長整数型	101
	顧客名	テキスト型	外山 周治

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

受注テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	受注番号	長整数型	1001
	顧客CO	長整数型	142
	受注金額	長整数型	1120

<処理条件>

受注金額が8,000円以上の受注一覧表を作成する。

- それぞれの顧客COを関連付けしなさい。

<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。

受注金額が8,000以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：5件]

- 表を作成しなさい。

表題は“受注一覧表（受注金額8,000円以上）”とする。

データの並び順は受注金額の昇順とする。

受注金額は通貨表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

受注一覧表（受注金額8,000円以上）

受注番号	顧客CO	顧客名	受注金額
1024	111	宇野 裕二	¥8,000
		}	
1016	121	河島 保幸	¥10,220

第133回(令和5年7月)情報処理技能検定試験(データベース)3級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB3フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

会議室マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	会議室CO	長整数型	11
	会議室名	テキスト型	大会議室
	フロアCO	長整数型	1

※会議室マスタ.csvの1行目は項目名とする。

利用テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	利用番号	長整数型	1001
	社員CO	長整数型	129
	会議室CO	長整数型	12
	利用時間	長整数型	2

<処理条件>

会議室別に集計した平均利用時間一覧表を作成する。

- それぞれの会議室COを関連付けしなさい。
会議室CO・会議室名ごとに利用時間を集計（平均）しなさい。
利用時間の集計は“平均利用時間”とする。
[処理結果件数：6件]
- 表を作成しなさい。
表題は“会議室別平均利用時間一覧表”とする。
データの並び順は平均利用時間の降順とする。
平均利用時間は小数第1位未満四捨五入の表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

会議室別平均利用時間一覧表		
会議室CO	会議室名	平均利用時間
12	第一会議室	3.3
	}	
15	中会議室	1.2

第133回(令和5年7月)情報処理技能検定試験(データベース) 2級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品C O	長整数型	101
	商品名	テキスト型	長袖ポロシャツ
	仕入単価	長整数型	510
	仕入先C O	長整数型	19
	区分C O	長整数型	2

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

仕入テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品C O	長整数型	101
○	仕入日	日付/時刻型	2022/7/7
	数量	長整数型	44

仕入先マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	仕入先C O	長整数型	11
	仕入先名	テキスト型	サンユー
	担当者名	テキスト型	加西 香里

※仕入先マスタ.csvの1行目は項目名とする。

<処理条件>

- 2023年1月1日より前のレコードを削除し、合計仕入額が20万円以上の仕入額一覧表を作成する。
- <仕入テーブル>の仕入日が2023/1/1より前のレコードをすべて削除しなさい。
[削除件数：149件]
 - <仕入テーブル>・<商品マスタ>の商品C Oを関連付けしなさい。
商品C O・仕入日ごとに仕入額を求めなさい。
仕入額=仕入単価×数量
[処理結果件数：100件]
 - <処理条件>2.の結果と<仕入先マスタ>の仕入先C Oを関連付けしなさい。
仕入先C O・仕入先名ごとに仕入額を集計（合計）しなさい。
仕入額の集計は“合計仕入額”とする。
合計仕入額が200,000以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：6件]
 - 表を作成しなさい。
表題は“仕入額一覧表（合計仕入額20万円以上）”とする。
データの並び順は合計仕入額の降順とし、合計仕入額は通貨表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

仕入額一覧表（合計仕入額20万円以上）		
仕入先C O	仕入先名	合計仕入額
15	アペックス	¥473,680
	}	
17	ダイシン	¥200,000

第133回(令和5年7月)情報処理技能検定試験(データベース) 1級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

顧客マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客C O	長整数型	1001
	顧客名	テキスト型	ニーズ
	割引率	倍精度浮動小数点型	0.15

※顧客マスタ.csvの1行目は項目名とする。

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品C O	長整数型	101
	商品名	テキスト型	スリッパ
	単価	長整数型	1120
	区分C O	長整数型	1

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

区分マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	区分C O	長整数型	1
	区分名	テキスト型	雑貨

※区分マスタ.csvの1行目は項目名とする。

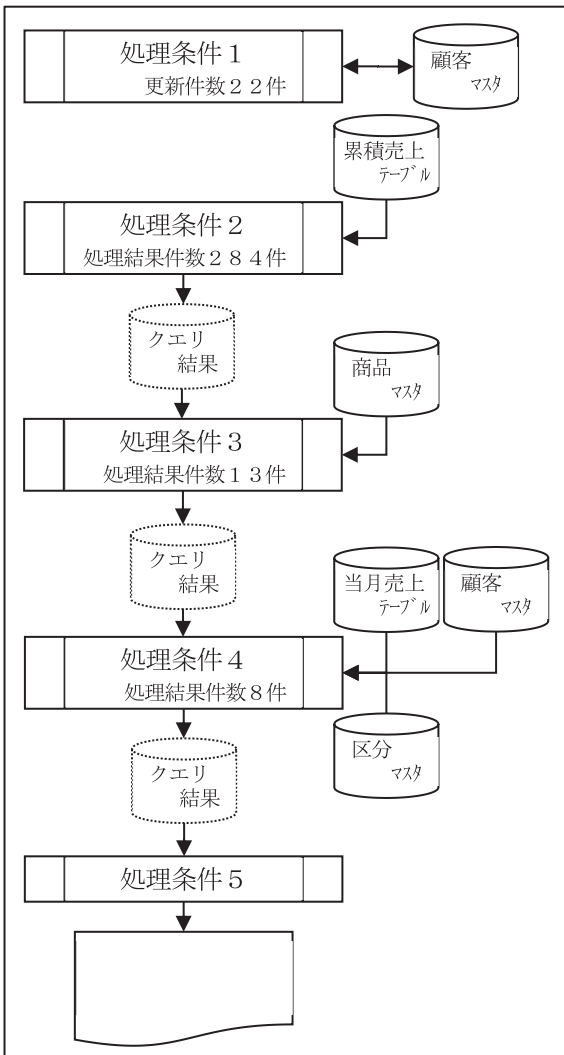
当月売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客C O	長整数型	1001
○	売上日	日付/時刻型	2023/6/1
○	商品C O	長整数型	136
	数量	長整数型	13

累積売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客C O	長整数型	1001
○	売上日	日付/時刻型	2023/1/17
○	商品C O	長整数型	133
	数量	長整数型	97

<処理フロー>



<処理条件>

割引率を更新し、前月に売上がない商品の区分別当月売上一覧表を作成する。

- 割引率が0.05のレコードの割引率を0.1に更新する。
- 売上日が2023/5/1から2023/5/31までを抽出する。
- <商品マスタ>を基準に商品C Oを比較し、一致しないデータを抽出する。
- 区分C O・区分名・商品名ごとに数量・売上額を集計（合計）する。
売上額＝単価×数量×（1－割引率）
数量の集計は“合計数量”とし、売上額の集計は“合計売上額”とする。
合計数量が100以上を抽出する。
- 区分C O・区分名ごとにグループ化した表を作成する。
表題は“区分別当月売上一覧表（前月売上ゼロ）”とする。
データの並び順は区分C Oの昇順で合計売上額の降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

区分別当月売上一覧表（前月売上ゼロ）

区分C O	区分名	商品名	合計数量	合計売上額
1	雑貨			
		ボディブラシ	496	548,680
		}		
		軽石	329	185,426
		}		
3	日用品			
		防災セット	241	707,104
		}		
		衣類圧縮袋	100	20,856